

1年中使用できるように改良しました。

1. 準備

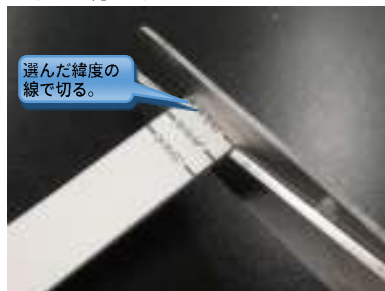
型紙（画用紙など厚い紙に印刷）、竹串（長さ18cm）、はさみ、のり、セロハンテープ

2. 作り方

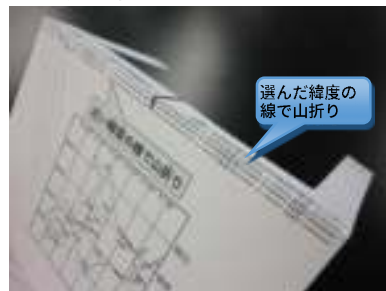
①型紙の外周（太い線）を切り抜く。



②図から観測地に近い緯度を選び、切る。



③観測地に近い緯度の線を山折りする。



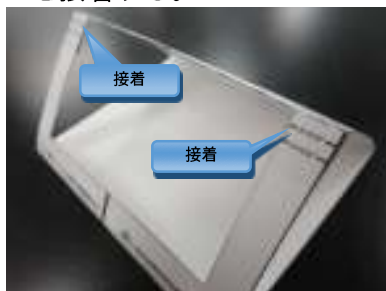
④半円部分を折り返し、裏側に貼り、竹串用の溝を切る。



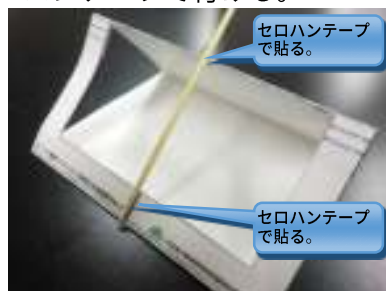
⑤残った折り線と、のりしろを山折りする。



⑥②で切った部分と、のりしろを接着する。



⑦竹串の先端を下にして、セロハンテープで付ける。



夏は表側に影ができる。



冬は裏側に影ができる。



3. 使い方

(1) 方位磁針で方角を確認する。

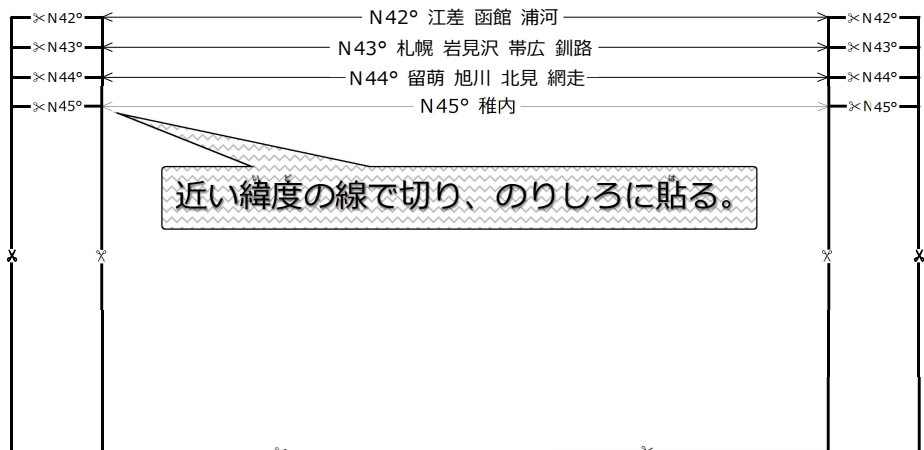
(2) 水平面に東西を合わせて置く。

(3) 竹串の影が指す位置を記録する。

(4) 時間の経過で竹串の影がどのように変化するかを観察し、記録をもとに考察する。

※影は、夏（春分～秋分）は表側、冬（秋分～春分）は裏側に見えます。

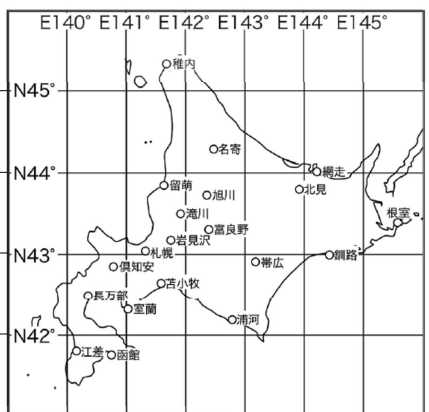
※北海道では観測する場所や季節によって、南中時刻が12時になりません。目盛は目安です。



rice CLOCK



近い緯度の線で山折り



ペーパー日時計（北海道版） Ver. 2

rice 北海道立教育研究所附属理科教育センター

